

2021 年度 事業報告書

自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日

日比 NGO ネットワーク (JPN)

東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館 1 階

(特活) アジア・コミュニティ・センター 21 内

はじめに

日比 NGO ネットワーク（英語名：Japan Philippines NGO Network 略称 JPN）は、設立から 16 年を迎えた。JPN は、「フィリピンの人々との協力活動を行う日本の市民組織（NGO）間の相互理解および協力関係を促進するとともに、日本とフィリピンの NGO 間の協働を推進することにより、両国市民社会の創造的な関係構築に寄与する」ことを目的とする（会則第 2 条）。

2021 年 6 月の運営委員会で、JPN は新たに 2 名の運営委員を迎え、6 名の新体制を確立した。そして運営委員のうちフィリピンに活動の拠点を置く 1 名は 7 月の運営委員会にて、「フィリピン・プログラム・アドバイザー」として、JPN 正・準会員団体がフィリピン現地で活動を行う際の相談窓口となり助言する役割を果たすことになった。

2020 年から引き続き新型コロナウイルス禍の影響を強く受け、外部関係者への訪問を必要とする募金活動等においては大きな制約を受けた。その中でも、2021 年度は、上述する JPN の目的「フィリピンに関わる NGO 間の相互理解、協力関係の促進と、日比間の協働の推進」を追求すべく、活動を実施した。2021 年度の新しい進展として、「正・準会員の集い」の開催がある。本活動は、これまで十分に実施できずにいたが、2021 年 8 月、正・準会員の参加を得て、新規運営委員会の紹介と「会員間の学習コーナー：“会員が抱える課題と挑戦から学ぶ”」を設けて実施した。参加者の正・準会員からは JPN の新規運営委員への質問が行われ、また両者間の意見交換を通して相互理解を深めた。そしてその後、正会員が抱える ODA からの NGO 助成金を巡る課題についての発表を受け、相互学習を進めた。同時に ODA の NGO 助成金のあり方についての、将来の提言につなげる場とした。

近年もっとも注力している学習会活動は、2021 年度中、3 回開催した。第 1 回（9 月）は NGO にとって関心の高いファundraising をテーマに取り上げ、20 名を超える正・準会員および非会員団体の役職員の参加を得た。講師より、主に助成金申請書類を作成するうえでの注意点や助成側の視点が紹介され、その後講師と参加者間で活発な意見交換と質疑応答が行われた。第 2 回・第 3 回は「テーマ学習会」シリーズとして、「家族、法的支援」「子ども」を取り上げ、第 2 回（12 月）では発表者 3 名のうち 2 名を JPN 非会員団体から招き経験と活動内容を発表してもらった。第 3 回（22 年 2 月）では、正会員と非会員団体よりそれぞれ 1 名が発表した。これら 2 回の学習会のねらいは、第一義的にはテーマについての一般市民の学習の機会の提供であったが、非会員団体の役職員の参加を得ることによって、JPN 活動への関心を喚起し、将来の協力関係に繋げることにあった。因みに、発表者のみならず、学習会には非会員団体の職員も学習参加者として参加し、オンラインで正・準会員の職員とも経験を共有する場ともなった。

滑り出しが順調であった 2021 年度、まさに「フィリピンに関わる日本の NGO ダイレクトリー」（JPN 専用ウェブサイト内に設置）の情報更新を進めていた矢先、11 月に JPN ウェブサイトに障害が発生し、閲覧ができない状態となってしまった。第 3 者からの攻撃を受けたことによる障害で、そのままのサイト、サーバーを使い続けることは難しいことが判明した。このことは運営委員会に報告し、後日、運営委員の努力でウェブサイトの再

構築にかかるご寄付を受けることができ、年度末には日本語版のウェブサイトの再構築に着手した。英語版のウェブサイトの作成は、2022年度以降に行うこととなった。

また、その他事業として、2021年12月16日にフィリピン・セブ島や南部ミンダナオを襲った台風22号（フィリピン名オデット）の被災者支援の募金活動を行った。JPNは被災地で救援活動するJPN正会員団体の（特活）DAREDEMO HEROをサポートする形で、募金を行い、2022年2月に寄付金全額を同団体に送金した。

2021年度事業活動の実施方針

2021年度の事業活動を行うにあたり、以下を重点課題とする基本方針を定めた。

- (1) 正・準会員間のコミュニケーションの促進
- (2) 学習会活動の充実
- (3) 情報普及と一般市民からの相談への積極的な対応
- (4) 国内外の関係組織とのネットワークの促進
- (5) 財政基盤の改善
- (6) JPN法人化に向けた準備活動
- (7) 必要と判断する提言活動

以上の基本方針を念頭に、会則に基づき、以下の事業を実施した。1) 正会員・準会員間の情報交換、経験共有等の推進、2) フィリピン社会とその人々、日本におけるフィリピン人社会の動きおよびフィリピンに関わる日本のNGOの協力活動等についての国内での理解促進と支持者拡大、3) 国内外の関係機関等との協働ネットワークの開発と推進、4) 健全かつ創造的な日比関係を構築するための提言活動、5) 資金調達活動および財務基盤の強化、6) その他（災害被災者支援などへの対応）。

以下は、各事業活動の結果の報告である。

I. 事業活動

1. 正会員・準会員間の情報交換、経験共有等の推進

(1) 正・準会員の集い

第1回「JPN正・準会員の集い」

日時：2021年8月10日（火）午後3時～4時55分

場所：オンライン(Zoom)

議題：JPN新運営委員の紹介と新運営委員会への期待、その他

会員間の学習コーナー：“会員が抱える課題と挑戦から学ぶ”

事例報告者：（特活）イカオ・アコ理事長 後藤順久氏

テーマ：コロナ禍における自主財源の減少と政府系助成金を受けての課題と挑戦

参加者：JPN正・準会員団体 役職員計8名

(2) 学習会（会員間の経験共有・相互学習）

主に正会員・準会員を対象に、一部非会員の参加も得て以下の学習会活動を行った。

第1回学習会「民間助成機関への申請書類の書き方、ポイント～助成側の視点から～」

日時：2021年9月9日（木）15時～16時50分

場所：オンライン(Zoom)

講師：(特活) アジア・コミュニティ・センター2 副代表理事・事務局長（(公信) アジア・コミュニティ・トラスト チーフ・プログラム・オフィサー）鈴木真里氏

参加：JPN 正会員団体職員 12名、非会員団体職員 9名、JPN 監事 1名、講師 1名計 23名

(3) 正会員・準会員間の情報交換の促進

正会員・準会員の活動の動向など共有化を図るため、会員間の情報共有を促進した。以下は、JPN 会員メーリングリスト等で共有した、その主なる内容である。

- ・ 4月26日（特活）アジア・コミュニティ・センター21：「日韓関係ダイレクトリ」発行のお知らせ
- ・ 5月7日（特活）WE21 ジャパン：講演会『生活困窮者の自立支援について慶南（韓国）神奈川（日本）それぞれの地域から考える』 案内
- ・ 6月25日シーズ・市民活動を支える制度をつくる会からの助成金情報 共有
- ・ 10月27日（特活）WE21 ジャパン：フィリピンオンラインチャリティーイベント 案内
- ・ 10月27日（特活）アジア・コミュニティ・センター21：団体関係者登壇イベント「第6回 国際協力・ソーシャルビジネス アジアカンファレンス 2021」（主催：(特活) ユニカセ・ジャパン） 案内
- ・ 11月4日（特活）アジア・コミュニティ・センター21：公益信託今井記念海外協力基金（2022年度）申請書募集案内
- ・ 2022年1月24日(特活) WE21 ジャパン：「フィリピンオンラインスタディーツアー」 案内

2. フィリピン社会とその人々、日本におけるフィリピン人社会の動きおよびフィリピンに関わる日本のNGOの協力活動等についての国内での理解促進と支持者の拡大

(1) 学習会（一般個人も含めた学習会）

① 第2回学習会「フィリピンに関わるNGO間の交流とテーマ学習会

～「家族」「法的支援」をテーマに活動するNGOのお話を聞きませんか～

日時：2021年12月23日（木）午後2時～4時

場所：オンライン（Zoom）

テーマ：「フィリピンに関わるNGO間の交流とテーマ学習会～「家族」「法的支援」をテーマに活動するNGOのお話を聞きませんか～」

発表団体・発表者：フィリピン人移住者センター 石原バージ氏
(特活) JFC ネットワーク事務局長 伊藤里枝子氏、
(特活) フィリピン日系人リーガルサポートセンター事務局長 石井恭子氏

参加：JPN 非会員団体（財団、社会福祉法人等）職員 7 名、一般個人（教育、法律関係等） 5 名、JPN 正会員団体職員 3 名、発表者 3 名 計 18 名

② 第 3 回学習会「フィリピンに関わる NGO とともに学ぶテーマ学習会 ～「子ども」をテーマに NGO のお話を聞きましょう～」

日時：2022 年 2 月 1 日（火）15 時～16 時 40 分

場所：オンライン(Zoom)

発表団体・発表者：(特活) 金光教平和活動センター専務理事 杉本健志氏
ミンダナオ子ども図書館館長 松居 友氏

参加：JPN 非会員団体職員 5 名、JPN 正会員団体職員 6 名、一般個人 1 名、JPN 監事 1 名、発表者 2 名 計 15 名

(2) 「フィリピンに関わる日本の NGO ダイレクトリー」更新

2021 年 9 月から 10 月にかけて、フィリピンに関わる日本の NG052 団体に対し、「フィリピンに関わる日本の NGO ダイレクトリー」のデータ更新および新規団体の掲載の協力依頼を行った。そのうち、11 月初旬までに 26 団体からの回答があり、事務局にてウェブ上の情報更新作業を進めた。しかし、回答団体のうち 10 団体分の情報を更新していた 11 月下旬に、JPN ウェブサイトに障害が発生し、作業・閲覧ともに不可能な状態に陥った。この状態が 2022 年 3 月まで続き、ダイレクトリー更新作業は中止せざるを得なくなった。同 3 月に新ウェブサイト（日本語版）の立ち上げを機に関係 NGO の簡易版の概要紹介ページを設け、2022 年度以降改めてスタートすることとした。

(3) ウェブサイトと SNS による情報発信

JPN、JPN 会員団体の活動に関する情報やフィリピンに関するニュース記事は、JPN ウェブサイト、Facebook、Twitter 等で発信した。本年度（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）のウェブサイト、SNS の利用頻度と実績は以下の通り（右欄の 2020 年度、2019 年度は参考まで）。

団体ウェブサイト (<https://jphilnet.org/>)

内容	2021 年度*	2020 年度 (参考)	2019 年度 (参考)
ユーザー数	4,387	5,259	5,199
ページビュー	11,288	18,858	15,476
新規訪問者割合	87.5%	89.7%	90.1%

再度訪問者割合	12.5%	10.3%	9.9%
---------	-------	-------	------

*2021年11月にウェブサイト障害が発生し、2022年3月まで利用ができない状態が続いた。

Facebook (<https://www.facebook.com/jphilnet/>)

JPN ページへのいいね！：813件（2022年3月31日現在）

2021年3月31日時点：2020年度比で784件29件増加

Twitter (<https://twitter.com/jphilnet>)

フォロワー：130人（2022年3月31日現在）

2021年3月31日時点：2020年度比で121人、9人増加

（4）問い合わせ対応

JPN 会員、一般個人からの電話、メール等による問い合わせに対応した。その主な内容は、以下の通り。①JPN への入会希望、②フィリピンへの海外送金方法の相談。

3. 国内外の関係機関等との協働ネットワークの開発と推進

本年度は、とくに行わなかった。

4. 健全かつ創造的な日比関係を構築するための提言活動

本年度は、とくに行わなかった。

5. 資金調達活動および財務基盤の強化

2021年度の会員状況は、以下の通り。正会員12団体、準会員3団体（うち1団体は大学ゼミナール）、個人準会員3名、個人賛助会員7名であった。2020年度からの増減をみると、正会員団体は1団体増加（準会員から正会員への変更による）、準会員は1団体・1個人減少、となっている。会員の大幅な増加は達成できなかったが、上述した学習会活動により、多くの非会員団体職員の関心を集められたことで、今後入会希望が増えることを期待する。

6. JPN 法人化に向けた準備活動

実施する優先課題の一つとして基本方針に掲げたが、コロナ禍その他の事情で準備活動に着手できなかった。

7. その他（災害被災者支援などへの対応）

2021年12月16日にフィリピン・セブ島や南部ミンダナオを襲った台風22号（フィリピン名オデット）の被災者支援の募金活動を行った。募金活動を行うにあたっては、JPN 正会員団体 DAREDEMO HERO が被災地セブ州で行う緊急支援活動をサポートした。事務局では、緊急支援の呼びかけ文を作成し、Facebook、Twitter、メー

ル等による発信を行った。広報協力先として JPN 会員・関係者、フィリピン学生協会等に拡散の依頼を行い、またメディアへも記事掲載の依頼を行った。結果、5 個人・1 団体から 43,000 円のご寄付を受けた。当初、寄付金総額のうち最大 20%を JPN 事務局活動費に充当する予定だったが、寄付金額が少額にとどまったことにより、寄付金全額を、JPN からの寄付金として（特活）DAREDEMO HERO へ送金した。

II. 組織運営

1. 役員（2022 年 3 月 31 日現在）

運営委員：伊藤道雄、猪俣典弘、森脇祐一、横田宗、小池絢子、内山順子

監事：鶴見和雄

2. 運営委員会の開催

第 1 回運営委員会

日時：2021 年 6 月 17 日（木）15 時～17 時

場所：オンライン（Zoom）

出席者：伊藤道雄、森脇祐一、横田 宗（以上 3 名オンライン出席）、猪俣典弘（書面表決書による出席）

欠席者：井上広之

監事：鶴見和雄

事務局：堀部佳奈

I. 審議事項

1. 2020 年度事業報告書（案）と決算報告書（案）
2. JPN 会則 3 条 2 項の改定
3. JPN における個人情報保護管理
4. （特活）DAREDEMO HERO 正会員申し込み

II. 報告事項

1. 事務局業務委託に関する契約書の更新
2. 現運営委員の任期満了に伴う次期運営委員の選出
3. その他（あれば）

第 2 回運営委員会

日時：2021 年 6 月 28 日（月）14 時～14 時 30 分

場所：オンライン（Zoom）

出席者：伊藤道雄、猪俣典弘、森脇祐一（以上 3 名オンライン出席）

欠席者：横田 宗、井上広之

事務局：堀部佳奈

I. 議題

1. 新運営委員の選出

第3回運営委員会

日時：2021年7月29日（木）14時～15時30分

場所：オンライン（Zoom）

出席者：伊藤道雄、猪俣典弘、森脇祐一、横田宗、小池絢子、内山順子
（全員オンライン出席）

事務局：堀部佳奈

I. 議題

1. 新運営委員の紹介
2. 運営委員会代表、副代表の選出
3. その他

第4回運営委員会

日時：2021年12月8日（水）17時～18時

場所：オンライン（Zoom）

出席者：伊藤道雄、森脇祐一、小池絢子、内山順子（以上4名オンライン出席）

欠席者：猪俣典弘、横田 宗

監事：鶴見和雄

事務局：堀部佳奈

I. 協議事項

1. JPN ウェブサイトのシステム障害における対応策
2. その他

第5回運営委員会

日時：2022年3月29日（火）14時～16時

場所：オンライン（Zoom）

出席者：伊藤道雄、猪俣典弘、森脇祐一、小池絢子、内山順子
（以上5名オンライン出席）

欠席者：横田 宗

監事：鶴見和雄

事務局：堀部佳奈

I. 審議事項

1. 2022年度事業計画書（案）について
2. 2022年度事業予算書（案）について

II.報告事項

1. ウェブサイトの修復状況
2. その他

3. 会員

正会員団体

- 1) (特活) ACTION
- 2) (特活) アクセスー共生社会をめざす地球市民の会
- 3) (特活) アジア・コミュニティ・センター21
- 4) (特活) イカオ・アコ
- 5) (特活) 金光教平和活動センター
- 6) (特活) ソルト・パヤタス ※2022年3月31日をもって正会員退会
- 7) (特活) ビラーンの医療と自立を支える会
- 8) (特活) フィリピン日系人リーガルサポートセンター
- 9) (特活) ヘルピングハンズアンドハーツジャパン
- 10) 立正佼成会一食平和基金
- 11) (特活) WE21 ジャパン
- 12) (特活) DAREDEMO HERO

準会員団体

- 1) (特活) 国境なき子どもたち
- 2) (特活) LOOB Japan
- 3) 大学ゼミナール (匿名希望)

準会員 (個人3名)

賛助会員 (個人7名)

4. 事務局

事務局は、(特活) アジア・コミュニティ・センター21 (ACC21) との業務委託契約第1条 (委託業務) に基づき、ACC21 に業務委託を行った。

以上